時事新報

驛遞局認可 (定價三錢)
明治十八年六月十五日 (西暦一千八百八十五年) 月曜日
第九百九十五號
日曜日休刊

公報

○太政官布達第十二號
舊海陸軍刑律ニ依リ奪官及ヒ回籍ノ刑ニ處リ文武大小ノ職ニ補スルヲ禁セラレ又ハ武官大小ノ職ニ補スルヲ禁セラレタル者宣告ノ日ヨリ五年ヲ過タル後悛改ノ情狀ニ因リ其禁ヲ解クヿアルヘシ
右布達候事
明治十八年六月十三日 太政大臣公爵三條實美
陸軍卿 伯爵大山巖
海軍卿 伯爵川村純義

○大藏省告示第九十號
明治十六年(十二月)第四十八號布告中山道鐵道公債證書條例ニ據リ公債募集殘額面五百萬圓ヲ發行シ其手續左ノ通相定ム
一發行公債證書ノ價格ハ額面金高百圓ニ付金九十五圓トス
一此公債證書引受方望ノ者ハ本年七月十日迄ニ其引受ント欲スル證書ノ金高及ヒ價格幷ニ其住所氏名ヲ記シ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムヘシ
一公債證書引受方申込ムモノハ證書額面金高百圓ニ付金十圓宛保證金トシテ其申込ヘキ店ヘ拂込ムヘシ
一大藏省ニ於テハ本年八月十日迄ニ各申込人ヘ渡スヘキ證書ノ高ヲ定メ日本銀行ヨリ通知セシムルニ付其引受高ニ對スル金額ノ內保證金ヲ引去リタル跡金ハ第一回ハ同八月二十日迄ニ第二回ハ同九月二十日迄ニ半額宛ヲ拂込ムヘシ但第二回ノ分ヲ第一回ニ一時ニ拂入ルヽモ妨ナキモノトス
一前條々ノ外ハ總テ十七年(五月)當省第五十八號告示中山道鐵道公債證書發行手續ノ通リ心得ヘシ
右告示候事
明治十八年六月十三日 大藏卿 伯爵松方正義

賞勲敍任

○明治十八年四月七日
敍勲四等賜旭日小綬章 歩兵少佐從六位勲五等 大久保福久
歩兵大尉正七位全 川崎辰己
○明治十八年六月九日
內務少輔兼東京府知事正五位勲三等 芳川顯正
布哇國皇帝陛下ヨリ贈與シタルナイト、グランド、オフヰシル、オフ、ゼ、クヰン、オフ、ハツイ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
○明治十八年六月十二日
任會計檢查院書記官 正六位勲六等 河野通
兼任支那少書記官 農商務少書記官正七位 河上謹一

時事新報

支那貿易ニ關スル日本ノ商民ト商船

支那ハ世界ノ大國ナリ九十萬方里ノ版圖ニ據テ四億內外ノ人口ヲ有ス山林水陸ノ富源多ク饒ニシテ無盡ノ財源ナレハ誰人モ求メ充分ニソノ操挪ヲ試ミタル者アラズシテ自然ノ儘ニ放置シ其外國貿易ノ如キモ年ヲ逐ヒ日ヲ逐テ盛大ノ域ヲ致サヽルニ非ズト雖ヒ土地人口ノ割合ニ比較シテハ猶ホ幼稚ノ域アルガ如シ方今支那帝國ノ外國輸入高一箇年凡ソ一億二千萬圓、輸出高同シク一億一千萬圓合セテ二億三千萬ノ額ニ過スソノ數ニ就テ見レバ二億三千萬ノ取引決シテ少小ニハアラザレ共世界第一ノ大國タルソノ版圖內ニ於テハ此等ノ商賣未ダ以テ富源發達ノ頂點ニ達シタル者ト云フ能ハズ却テ今後ノ勢運ニテハ外國人ハ倍々商賣ノ手ヲ弘メテ支那ノ沿岸內地到ル處ニソノ商利ヲ開キ內外取引高モ次第ニ增加シテ支那帝國貿易ノ盛大無比古今ヲ擧ゲテソノ類ヲ見ルヿ稀ナル程度ニ登ルモ知ル可ラズ兎ニ角ニ支那ハ世界ノ一大市場ニシテ百貨ノ需要殆ント限リ無ケレバ英人モ來リ米人モ來リ世界万國ノ商利ヲ射ルモノ皆ナ來テソノ貨物ヲ賣附ケント競爭シ四億人ノ花主ヲ相手ニシテ皆ソノ販路ヲ擴張スルヿニ輸入貨物ノ增加近年ニ至リテ實ニ夥シク高度ニ達シ中ニ就テ英國人ガコノ十餘年來ノ取引ニ於テ獨リ支那ニノミ賣込ミタル貨物ノ增加高殆ント四割ニ上レリト云フコレ英人ガ商賣ニ巧ミニシテ兼テ商權實力アルノ致ス所ナラント雖ヒ一方ニハ支那帝國ノ市場殆ント限リナクシテ外國ノ貨物ヲ吸收シ消費スル坑溝アルニ由テ然ルヿ疑ヒ無キナリ今ノ世界ニ在テ支那貿易ノ利ニ着手セザルハ利ヲ見ルニ極テ迂闊ナル者ト云フベシ

日本ハ一衣帶水ヲ隔テ、支那ト相對峙シ支那沿岸ノ開港場二十餘箇處アリト雖ヒ我長崎ヨリ發スレハ近キハ二晝夜遠キハ一周間ヲ以テ自在ニ達ス可ラザルノ地ナシ其貿易取引高ハ日本ヨリノ輸出五百三十萬圓、支那ヨリノ輸入六百三十萬圓總計千六百六十萬圓ノ額ニ上リ日本國總輸出入ノ五分ノ一ハ支那貿易ノ占有ニ歸シ米、英、佛三國ノ通商ヲ除ケハ日本國ノ取引ハ支那ニ對スルヲ第一ノ巨額ト爲スナリ故ニコノ點ヨリ觀察ヲ下ストキハ日支間ノ貿易モ亦我國ニ相應スル丈ノ割合ヲ保ツニ似タリト雖ヒ二億三千萬ノ輸出入アル大國ト接近密邇シテ同ジ東洋ニ在リナガラ實際ノ貿易高ハ僅々一千餘萬ヲ踰エズシテ其輸出入總額ノ二十分ノ一ニ止マルガ如キハ決シテ貿易ノ盛ナルモノト評シ難シ若シ日本人ガ非常ノ奮發ニテ日支ノ貿易ヲ擴張セント欲セハ一千萬圓ヲ上ボセテ二千萬圓トナシ二千萬圓ヲ上ボセテ三千萬圓トスル等前途旺盛ノ目的モ隨分コレアルベキナレド滔々タル天下ノ人多クハ支那ノ貿易ヲ度外視シテ如何ナル好市場アル歟如何ナル良利益アル歟殆ントコレニ注目スルモノ無シ然ノミナラズ一千餘萬ノ貿易モ一ニ外人ノ手ニ任セテ自カラソノ利ヲ儲クルヲ圖ラザルトハ實ニ歎キ入リタルヿト云フベシソノ證據ニハ支那開港場二十餘箇處ノ內ニテソノ新開ニ係ル二三ノ港地ハ我國未ダ均霑ノ恩惠ヲ受ケズシテ通商往來ヲ得ザル向キモアランナレドソノ他ハ南ハ廣東廈門福州ヨリ台灣ニテハ打狗淡水ノ如キ又揚子江ニ沿テ上海鎭江漢口ノ如キ夫レヨリ北ニシテ芝罘天津等ニ至レハ貨物輻輳シテ商業殷富ノ要地ミナ日本商人ノ到ルヲ得サル處無ク到レバマタ利ヲ獲ルヿモ難カラザルベキニ以上ノ諸港中、日本商人ノ在駐スルハ獨リ上海ノ一港アルノミニシテ是レトテモ獨立ノ資本ヲ有シ日支貿易ノ幹旋ヲ爲ス商人トテハ一モ見當ラザル有樣ナリ又日本人ニシテ僅ニ店戶ヲ市上ニ出スモノ又五若クハ六ニ止マリ世ノ諺ニ數ノ少キヲ喩ヘテ指ヲ屈スベシト云フヿアレヒ在上海日本商人ノ數ハ指ニテ數フルニモ足ラザルナリ左レヒ五六モ亦數ナレバ上海ニハ我商店商人アルヿ相違ナシトスルモ他ノ開港場ニテ日本商人ト云ヘバ隻影ヲモ留メズ即チ天津ニ往テ日本人ノ商店ヲ出スモノアリヤト問フニ一人モ無シト云ヒ、芝罘ニ往テ日本人ノ店ヲ出スモノアリヤト問フニ又一人モナシト云ヒ、ソノ他漢口ニ往キ廈門ニ往キ廣東ニ往キ將タ打狗ニ往キ同シク日本人ノ店ヲ出スモノアリヤト問フニ又々一人モナシト云フ、斯ル有樣ナレバ支那沿岸二十餘箇處ノ開港場アリト雖ヒ日本人ノ爲ニハ何等ノ實用ヲモ爲サズ畢竟貿易ノ路ヲ求ルニ緩慢ナルモノニシテ其市場ノ所在ヲモ知ラズ爭テ其事情ヲ詳ニスルヲ得ベケンヤ日支貿易ノ今尙ホ遲々タルモ謂レナキニ非ザルナリ又支那ノ貿易港ニ出入スル日本商船ノ數ヲ取テ試ニ之ヲ其各港出入船舶ノ總數ニ比較スルモ亦以テ日本人ガ支那ノ貿易ニ感覺少ナキノ情ヲ窺ヒ知ル可シ即チ支那諸開港ノ出入船舶總數ハ汽船帆船一箇年凡ソ二萬三千乃至四千ニシテソノ噸數三千萬以上ナリ然ルニコノ內ニテ日本船ノ支那諸港ニ往來スル隻數ハ若干ナリヤト云フニ實ニ僅々タルモノニシテ多少俠氣アルノ日本人ハ之ヲ話シニ聞クサヘ尙恥カシト思フ程ノ次第ナリコノ四五年來ノ平均ニテハ支那二十餘箇處ノ港場中日本船舶ノ出入スル所ハ僅カニ二三箇處ニ止マリソノ出入ノ總數モ大抵二百以上三百以下ニシテ日本商船ノ來往少シモ增加スル所アラズト云ヘリ例ヘハ明治十六年ノ滿十二箇月間ニ日本船ニテ支那ノ諸開港場ニ出入シタルモノヽ數ヲ聞クニ上海ニテ汽船二百七隻、帆船四十一隻汕頭ニテ汽船六隻芝罘ニテ帆船二隻共計二百五十六ソノ噸數總シテ二十萬噸ヲ踰ヘズ年々日本船ノ出入ハ大抵此ノ如キモノニテ之ヲ一箇年二萬三千乃至四千モアル出入船舶ニ對比シテハ日本ノ割前實ニ見ル蔭モナキ少數ト云フベシ故ニ天津ニ往テ日本國ノ船舶來ルヿアリヤト問ヘバ周年一艘モ來ラズト云ヒ漢口ニ往テ日本ノ船來ルヿアリヤト問ヘバ又周年一艘モ來ラスト云ヒソノ他廈門廣東打狗等ニ往クモ又々周年日本商船一隻ノ出入アルヿ無シト云フ如キ日本人ガ僅カ一衣帶水ノ支那港場ニ於テソノ貿易商賣ノ利ヲ輕忽ニスル例證トシテ見ルベシ日本ノ商人ト日本ノ商船トガ斯ク支那ノ港場ニ入リ込マズシテ日支間ノ取引高尙且日本貿易總額ノ五分ノ一ヲ占ムルガ如キハ偶然意外ノ僥倖ニシテ商モ之ヲ日本商民ノ功績ナリト云フ可ラズ寧ロ前記ノ有樣ニテハ我日本ノ商民中ニハ誰レ一人トシテ支那貿易ノ擴張ニ着目スルモノ無クソノ輸出入トモニ西洋人若クハ支那人ノ手ニ打任セ置テ毫モソノ利損ヲ慮トセザルニ似タリ日本ノ商民ガ手近カナル支那貿易ノ擴張シ得ヘキヲモ擴張セズシテ徒坐安閑獨リ扶桑限リノ小天地內ニノミ蟄息スルハ懶惰ナリ油斷ナリ文明ノ世界ニ立テ商利ノ競爭ヲ試ムベキ今日ニ際會シツヽ、眼前咫尺ノ支那貿易サヘ一ニ外國人ノ掌握ニ放棄シテ顧ミザルハ豈ニ日本人民ノ大ナル咎ナラズヤ今ニ及ンデ早ク心事ヲ轉シテ其處置ヲ爲サヾレハ現在ノ商賣スラ委靡退却シテ復タ救フ可ラザルニ至ラン支那貿易ノ興隆ヲ圖ルハ實ニ方今日本人民ノ大急務トスル所ナルベシ

雜報

○獨逸皇帝の不豫 獨逸皇帝ウヰルヘルム陛下が大病の由ハ電報によりて前日の紙上に記載せしが今五月二十日伯林發の報を見るに皇帝陛下は又々病氣となれり其が爲めベルヂユームの王レヲポルド陛下は本月廿一日を以てウヰルヘルム陛下を訪問し皇帝及びビスマーク公がコンゴー會議に關し補助を與へたる謝禮を述ぶる筈なりしを更に他日に延引したりとあり

○グランド將軍 同將軍病氣の事に就き米國桑港の新聞紙は日々ニウヨークより電報を取寄せて精しく其容体を記す事あるが今同新聞に記載するニウヨークよりの最近報即ち五月廿日の報に將軍の病狀と格別變りなけれど耳の下と後の腫も大分に退き隨て痛も餘程去りたり此間まで將軍の苦痛は總て耳の邊に集りしが去る十七日以來痛みは盡く引去り今朝ハ顔色もよくて仕事と爲し居たりとありたり

○ビスマーク公病む 獨逸
カタルにて病蓐に在りと云

○十八年度歳入出豫算書報告
一內外國債ノ未償還額(十
億二千八百九十六萬二千
ヲ前年度ノ未償還額三億
八十錢ニ比スレバ實ニ四
七十錢ヲ增加セリ然ル所
祿公債其他各種ノ內國債
萬九千六百八十四圓五十
十六萬六百七十二圓前年
公債ノ內事故アリテ取消
又流通紙幣ヲ消却セシモ
紙幣ヲ引揚シモノ三十圓
二百八十七圓三十錢ヲ準
ニ於テ千百九十萬八千
於テ十八萬三千圓ヲ發行
爲メ紙幣發行額ニ於テ一
整理上ニ於テ五千百三十
百三十圓ノ增加アリシヨ
一本年度準備部ノ在高(十
千五百九十七萬千五百三
之ヲ前年度ノ在高四千七
錢三厘ニ比スレハ實ニ百
錢六厘ヲ減少セリ然ル所
セシモノ七百萬圓諸貸出
係ル配當金其他ノ諸收入
九十四圓六十一錢四厘ヲ
十二萬四千九圓四十九錢
九百四十四圓十一錢ヲ
常用部ニ向テ支出セシモ
圓五十三錢二厘又十六年
シモノ三百九十九萬五千
本銀行及横濱正金銀行ヘ
ラレタルニヨリ三百五十
モノ二百萬七千五圓六十
五百六十四圓三十一錢六
一貸付金ノ在高(十八年四
五千二十五圓三十四錢四
二千三百六十九萬六千百
三百六十一萬千百三圓五
ハ營業資本等各廳ヘノ交
八錢五厘各般更正處分
萬七千二百九十七圓五十
付セシ金員ヲ常用ノ貸金
合計八十三萬九千百八十
ト雖モ諸貸付等ニ於テ還
一萬二千四百五十圓五十
一時返納ニ係ル利引及
五十四萬千五百十四圓五
內鐵損物ノ處分ヲ爲セシ
十四圓六十錢七厘合計四
十七錢五厘ヲ減少セシニ
一備荒儲蓄金ノ在高(十八
四十一萬二千七百五十四
前年度ノ在高二百二十三
厘ニ比スレハ十八萬二千
增加セリ然ル所以ハ和歌
ノ爲メ之ニ補助セシモノ
九錢六厘ヲ減少スト雖モ
シ殘餘金十六年度下半年
萬圓ヲ揷入シ幷ニ貸ヲ隨
利子ヲ收入セシモノ三萬
厘合計三十三萬五千七百
アリシニ由ル
一別途金ノ在高(十八年四
千百十三圓八十七錢七厘
萬圓ニ比スレハ四萬三千
加セリ然ル所以ハ金札引
シニヨリ之ニ係ル利子ヲ

○支那遊覽雜記(前號の續)